

令和3年度 第5回 和光市立広沢小学校学校運営協議会 議事録

令和4年2月14日

【日時・場所】 令和4年2月7日（月） 17：00 広沢小学校会議室

【参加者】 10名

難波 京子（元本校職員）／田中 とみ子（保護者の会 学校運営協議会担当）
高野 乃輔（自衛隊和光官舎自治会長）／中山 弘（2030 VISION Project 代表）
山崎 雄一（保護者の会会長）／井上 航（西大和団地自治会長 代理）
塚本 拓（和光市社会福祉協議会）※WEBにての参加
辻 英一（校長）／對馬 秀樹（教頭）／丸山 陽平（教務主任）

【会議概要】

1 学校長あいさつ

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、学校の教育活動が難しい状況である。
- ・ 学校評価について、いろいろとご協力いただいている。

2 協議等（参会者より）

(1) 学校関係者評価委員会

- ・ 評価のための評価ではなく、よりよい改善に資する評価となるようにしたい。
- ・ 自己評価をもとにしているところもあり、自己評価と学校関係者評価が似ているところがある。
- ・ ICT の活用はコロナ禍においても先生方は頑張っている。有効な活用について更なる取組に期待している。
- ・ 新しい時代に必要な力もそうだが、学力や体力など、基礎的なこともおろそかにできない。バランスを考えた教育活動が重要である。

(2) 令和4年度学校経営計画について

- ・ 学校教育目標を、子供たちの育ちの姿として示してはどうか。
- ・ 学校評価の課題は、次年度の重点目標として、特に重点的に取り組んでいくとよい。
- ・ 学校教育目標に、目指す学校像を乗せるのではなく、目指すべき学校の方向性は、学校経営の方針として示すべきである。
- ・ 私たちもそうだが、教職員の意見をしっかりと反映させた学校教育目標とすべきである。
- ・ 「広い心で さわやかに」は校訓として、永続的に残していく。
- ・ 子供たちの姿はさまざまである。どの子供にとっても目指すべき姿とした学校教育目標となるといい。

3 事務連絡

○ 今後の予定等について

- ・ 今年度の最終は3月29日（火）に予定する（令和4年度の経営方針の承認等）。
- ・ 学校教育目標については、この後素案を教職員で確認し、最終的にはかわら版で3月初めには保護者にも説明し、決定していく。